

# 高山駅 東西口駅前広場整備について

## ■駅前広場の位置づけ

駅前広場は、駅と一体となり高山のメイン・エントランスとなる"顔"であり、世界から観光客が訪れる街の玄関口にふさわしいもてなしの空間として位置づけられます。

駅舎の橋上化に伴い東西広場を結ぶ自由通路も整備されることで、駅の東西が一体的に位置づけられます。広場整備においても東西で基本的に同じ素材、デザイン方針で整備を行います。

## ■社会の資産

駅前広場をつくるということは百年の計に耐えうるものであることが求められます。厳しい気候風土に耐える堅牢さと、長く愛される意匠を兼ね備えた建築・広場とします。

## ■西口駅前広場

西口広場は機能的に必要な要素が広場の大部分を占めることとなります。今後広場隣接地がどういった性格付けの場所になるかによって、西口広場の位置づけ、考えを進展させることができると考えています。将来的な整備にも柔軟に対応できるベースをつくることを考えています。

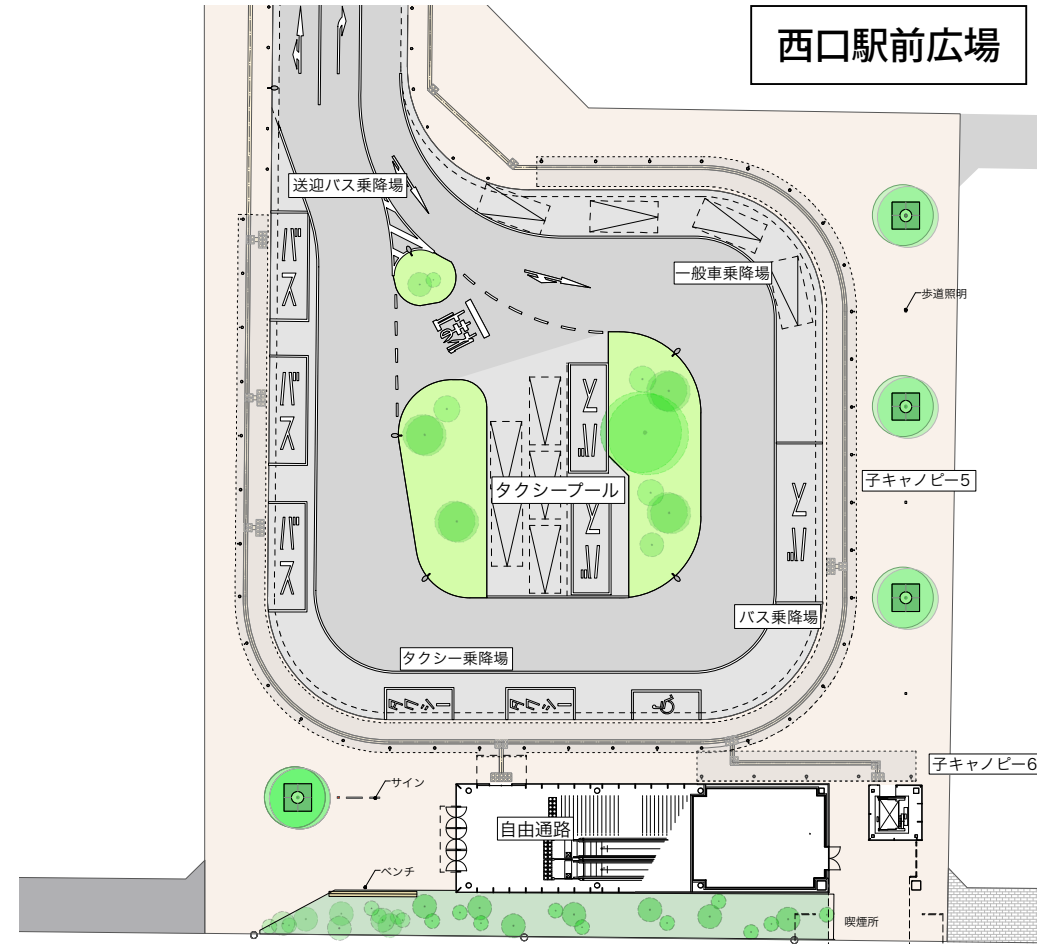
## ■東口駅前広場

約30m×34mの回廊を設けることで、駅前に象徴的な場をつくる計画とします。観光都市ということで、おもてなしをする、迎える空間としての囲われた場所を考えています。回廊を造ることにより、一つの駅前としての領域を作るということを意図しています。回廊内には水盤、シンボルツリー、観光案内所が設けられ、静謐な空間を目指します。

## ■再生可能エネルギーの利用

再生可能エネルギーを積極的に利用する計画とします。これにより再生可能エネルギー利用を推進する高山市の玄関口にふさわしい計画とします。

- ・駐輪場屋根に太陽光発電パネルの設置  
→広場の電気利用
- ・観光案内所の換気に地中熱を利用したアースチューブ利用  
→空調負荷の低減
- ・広場の消融雪設備に、温度差熱を利用する地下水利用  
→熱源エネルギー低減

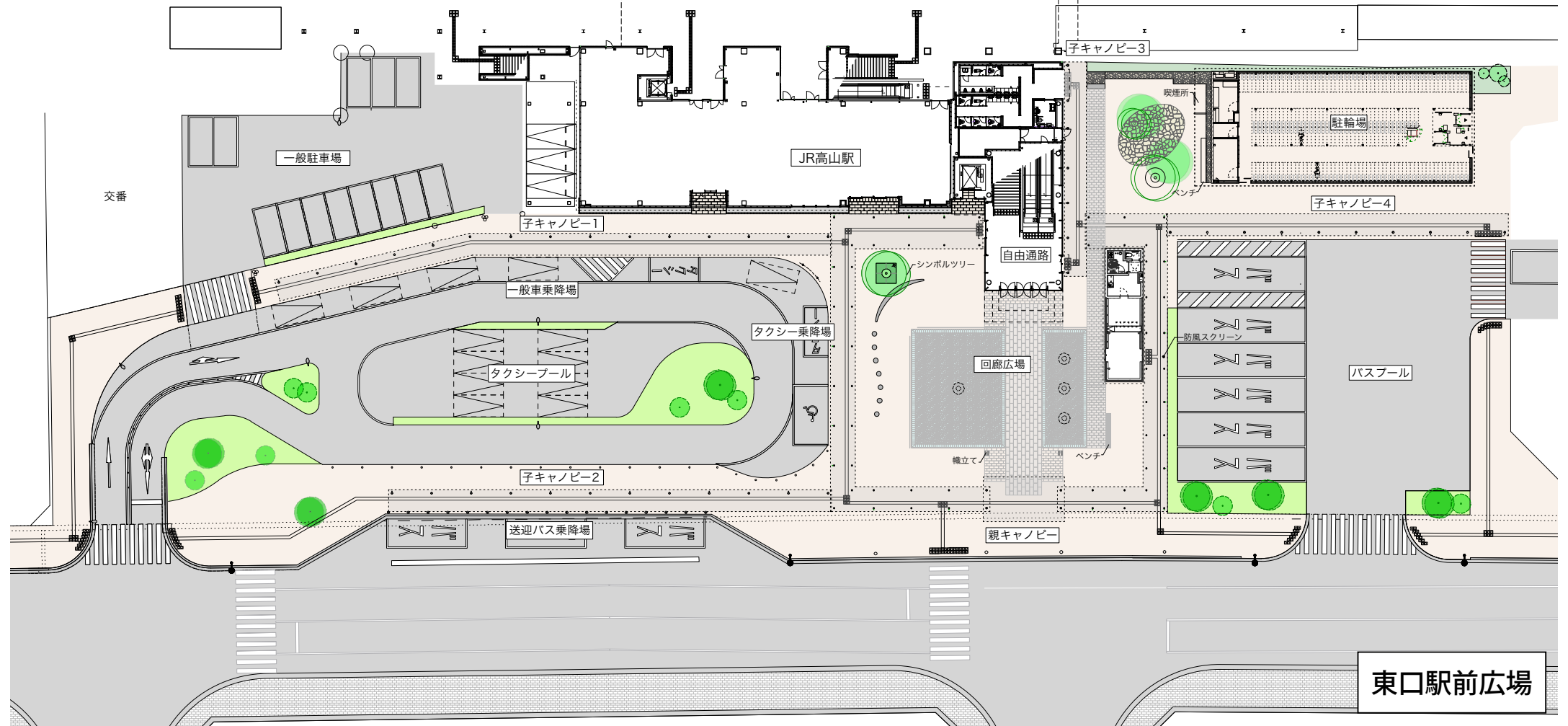


### 西口駅前広場概要

- 面積  
約 3,400㎡
- 交通機能  
タクシー: 乗降各 1 台 待機 5 台  
自家用車: 乗降 5 台 (福祉用含む)  
送迎バス: 乗降 5 台 (待機 2 台含む)  
路線バス: 乗降 1 台 (停留所)

### 東口駅前広場概要

- 面積  
約 5,500㎡
- 交通機能  
タクシー: 乗降各 1 台 待機 9 台  
自家用車: 乗降 5 台 (福祉用含む)  
送迎バス: 乗降 3 台  
路線バス: 降車および待機 6 台
- その他機能  
トイレ (自由通路下)  
交番 (広場南側)  
観光案内所  
駐輪場、駐車場



### 東口駅前広場



# 広場の設え

高山らしさを直接的に表現するのではなく、高山の精神性のようなものを表現し、他都市とは違うというメッセージを発信できればと考えています。

もてなしを意識した回廊広場、夏の暑さ意識した水盤、冬の積雪を意識した動線(回廊から広場内各所へアクセス)、照明(行灯のような案内所)、舗装(土間のような風情をもって広がるイメージ)、どれもこの土地ならではの設えとしています。表現の仕方は地元素材や技術の活用し、大都市とは違う表現、素材感を持たせることを考えています。

## ■植栽方針

基本的に高山市に自生する樹木を植栽します。自生する樹木の採用は、市民の方にとって見覚えのある、高山らしい駅前広場空間の創出に寄与します。また、四季の変化を感じられるよう、ヤマモミジやカツラ等の落葉樹も積極的に採用します。



東口駅前広場イメージ



西口駅前広場イメージ

## ■広場使用素材イメージ

広場の随所に地場の素材を使用する計画とします。また、旧駅舎で供用開始時から使われていたタイルを広場内で再利用することで、昔の記憶を継承する計画とします。



旧駅舎のタイル

旧駅舎のタイル

駐輪場前スペース石垣 / 位山石

駐輪場前スペース石畳 / 位山石

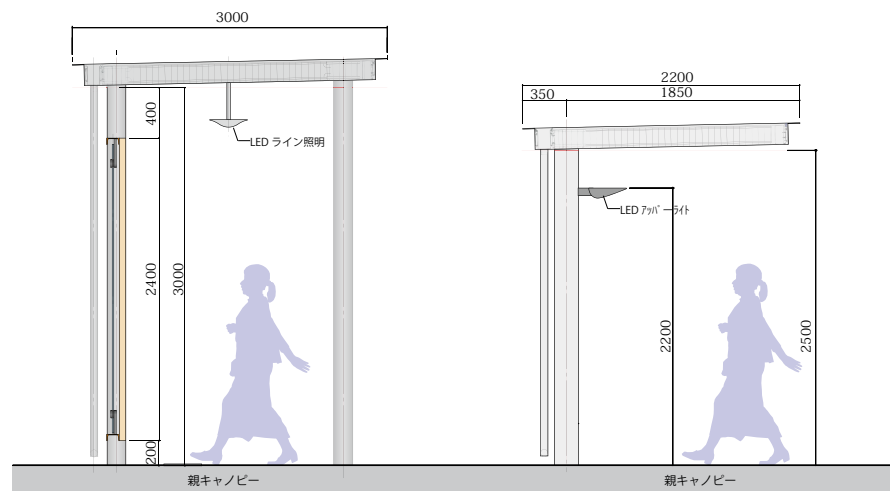
水盤 / 位山石 (小割)

延段 / 岩滝石

歩道舗装 / 洗出舗装

水盤のイメージ

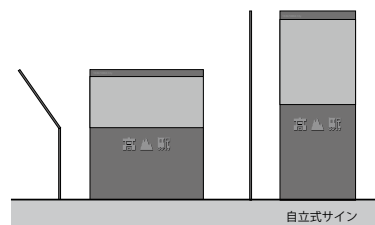
## ■キャノピー



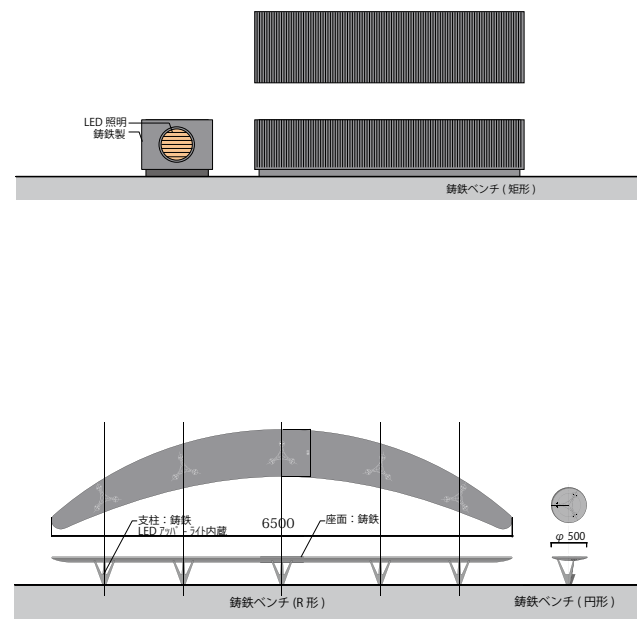
## ■サイン



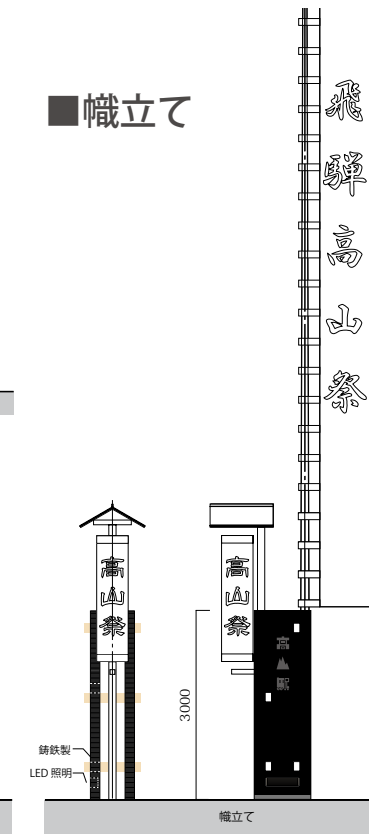
旧駅舎開業時に使用されていた"高山駅"のサインを部分的に使用します。



## ■ベンチ



## ■幟立て



## ■照明

